

インフルエンザの流行が始まりました！

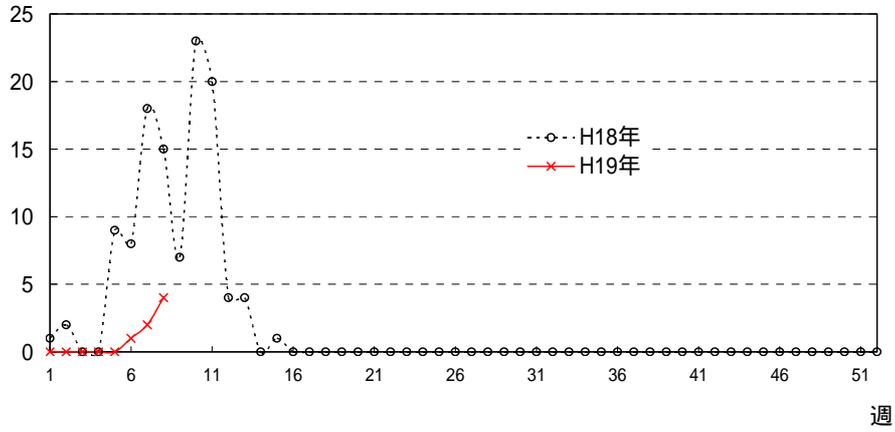
大島、新島、神津島においてインフルエンザの患者が増加しています（参照：グラフ 1～3）。患者からは A 型インフルエンザウイルス、B 型インフルエンザウイルスともに検出されています。

家庭および保育園、学校、施設などの集団生活において以下の点に注意して生活してください。

- 急な発熱、頭痛、咳、関節痛、筋肉痛など、インフルエンザが疑われる症状が出ていないか観察しましょう。症状が疑われる場合は医療機関を受診しましょう。
- インフルエンザの発症予防または重症化予防に予防接種を考慮しましょう。
- 咳などの症状がある時、または口の中の湿度を保ちたいときはマスクをつけましょう。
- 帰宅時のうがい、手洗いを丁寧に行いましょう。
- 室内の湿度（50%程度）を保ちましょう。
- 十分な睡眠、栄養を取りましょう。

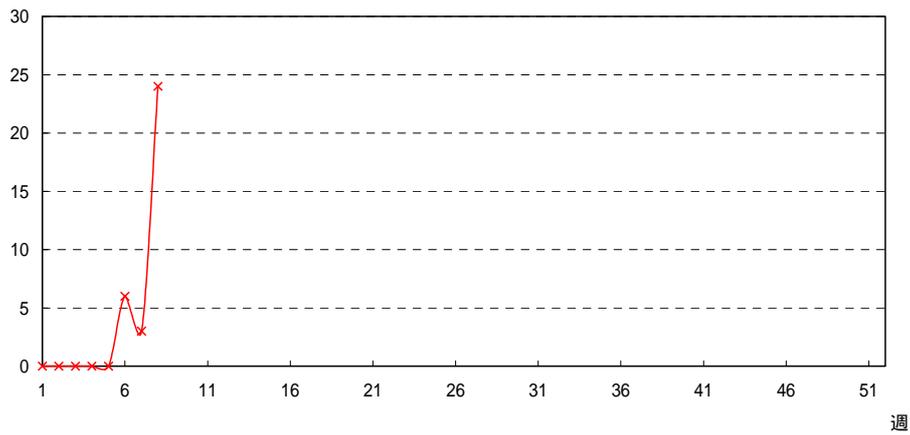
件

グラフ1: 大島町インフルエンザ報告週別届出症例数(平成18年～平成19年8週)



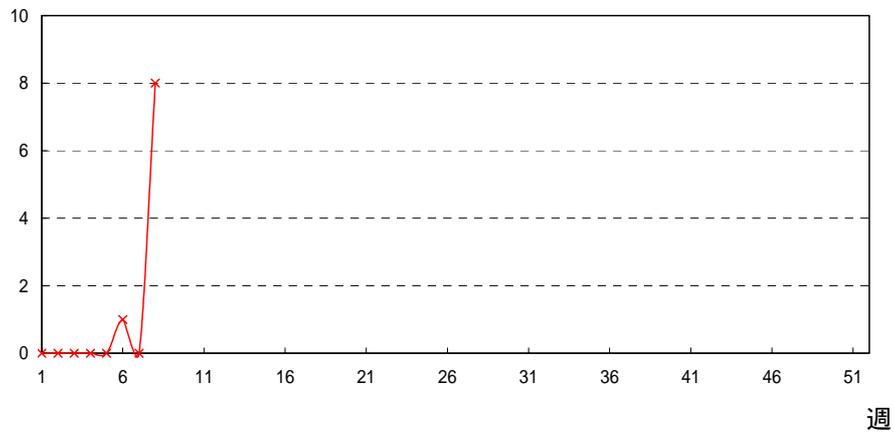
件

グラフ2: 新島村インフルエンザ報告週別届出症例数(平成19年1週～8週)



件

グラフ3: 神津島村インフルエンザ報告週別届出症例数(平成19年1週～8週)



インフルエンザQ & A

Q 1 . インフルエンザとはこういった病気ですか？

A 1 . 毎年 11 月～4 月に流行する病気です。典型的には 38 以上の急な発熱、頭痛、咳、鼻水、咽頭痛、関節痛、筋肉痛が見られます。稀に脳炎など重症化することもあります。症状は約 1 週間程度持続します。

Q 2 . インフルエンザはどのように起きますか？

A 2 . インフルエンザウイルスといったウイルスに感染することでインフルエンザにかかります。患者の咳や唾を吸い込んだりすることで感染します。ウイルスに感染後 1～5 日で症状が出現します。

Q 3 . インフルエンザの治療はどのように行いますか？

A 3 . 抗インフルエンザ薬（塩酸アマンタジン、リン酸オセルタミビル）を主に使用します。この薬は発症後 48 時間以内に服用すると効果が高いとされています。

Q 4 . インフルエンザはどのように予防すれば良いですか？

A 4 . 発症予防、重症化予防のためにインフルエンザワクチン接種が有効であると言われています。またこの他に感染予防、感染拡大予防としてマスクを使用すること、人ごみへの外出は避けること、帰宅時に手洗い、うがいをする事、室内の湿度（50%程度）を保つこと、室内の換気に気をつけること、十分な睡眠、栄養を取ること、があります。

発症後 3～7 日間はウイルスを排泄すると言われています。症状消失後も体力が回復するまでは外出を控えましょう。一応の目安として、学校保健法では、「解熱した後 2 日を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。